

全国ローカル鉄道甲子園 in 三次事業企画・実施等支援業務
受託候補者等の選考結果について

1 選考結果

全国ローカル鉄道甲子園 in 三次事業企画・実施等支援業務の受託候補者等の選考について、公募型プロポーザルを実施した結果、次のとおり、受託候補者及び次点受託候補者を特定しました。

受託候補者	株式会社 中国放送
次点受託候補者	株式会社 ちゅピCOM

2 審査経過等

(1) 審査委員会

「三次市全国ローカル鉄道甲子園 IN 三次事業企画・実施等支援業務プロポーザル審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）を設置しました。

< 審査委員会委員 >

委員区分	氏名	役職等
委員長	山崎 輝雄	副市長
委員	桑田 秀剛	総務部長
委員	笹岡 潔史	経営企画部長
委員	濱口 勉	建設部長
委員	宮脇 有子	教育部長

(2) 審査概要

5者から提出された企画提案書等を審査し、受託候補者及び次点受託候補者を特定しました。

< 審査経過 >

期 日	内 容 等	
令和8年1月30日	第1回審査委員会	審査基準等の決定
令和8年2月5日	参加募集開始（公示）	
令和8年2月18日	参加意向申出書提出期限	提出者7者
令和8年3月4日	企画提案書受付期限	提出者5者
令和8年3月9日	第2回審査委員会	企画提案書等の審査、候補者の特定
令和8年3月中旬	契約締結	

3 審査の講評

(1) 総評

今回のプロポーザルは、全国ローカル鉄道甲子園in三次事業の企画・実施等に係る支援業務を委託するにあたり、広く専門的な知識、技術力、創造力、経験、実績等を有する者からの提案を求めるものでした。

審査にあたっては、基本要件として「実施体制・業務実績」「取組姿勢」、企画提案として「理解度」「妥当性」「スケジュール」の評価2項目について、企画提案書等による総合的な評価を行いました。特に「妥当性」については、コンセプトやセールスポイントが明確に示されているか、さらに今回の主役となる高校生に参加してもらうためのアプローチが明確に示されているか、主役としてコミュニケーションが十分図られる独創性のある創意工夫がされた提案内容となっているか等を中心に審査を行いました。

(2) 受託候補者

受託候補者の提案は、「実施体制・業務実績」「取組姿勢」「理解度」「妥当性」全般にわたり、高い評価を得ました。

(3) 次点受託候補者

次点受託候補者の提案については、「取組姿勢」と「妥当性」の高校生を参加させる手法や実際に参加してもらうためのアプローチの明確性について、評価を得ましたが、全般にわたり、受託候補者の評価と差異が生じました。